

海外における COVID-19 対応状況

日本芸術文化振興会基金部調査研究分野では、2018年に公表した「イングランド及びスコットランドにおける文化芸術活動に対する助成システム等に関する実態調査」に続き、「オーストラリアにおける文化芸術活動に対する助成システム等に関する実態調査」を実施中であり、今後はカナダ等各国の助成システム調査を実施する予定で準備を進めている。

その過程において、このたびの COVID-19（新型コロナウイルス感染症）にかかる文化芸術政策における各国（英国（イングランド・スコットランド）、オーストラリア、カナダ）の対応情報を調査収集した。

以下、調査概要をまとめているが、公表されている対応のうちの一部であり、5月25日時点での収集情報である。詳細は添付資料をご覧ください。

1. 英国（イングランド・スコットランド）

【概況】

イングランドの文化政策は、デジタル・文化・メディア・スポーツ省（Department for Digital, Culture, Media & Sport、略称 DCMS）が担っている。芸術文化助成に関しては、アームズレングスの原則に則った機関であるアーツカウンシル・イングランド（Arts Council England、略称 ACE）が執行している。

スコットランドの文化政策に関しては、スコットランド政府内に総局が置かれ、イングランド同様にアームズレングスの原則に則った機関であるクリエイティブ・スコットランド（Creative Scotland、略称 CS）が助成活動を行っている。

今回の COVID-19 対応では、英国政府から Coronavirus Job Retention Scheme（雇用維持制度）が発表されている。同制度を活用すれば、雇用主は、通常の賃金の 80%を、月額上限 2,500 ポンド（約 37 万 5,000 円）まで支払うことができる。このほかにも個人の暮らしを守るための対策などが複数講じられている。

これに加え、既に助成実績のある各芸術関連組織や個人などに対しては、各アーツカウンシルを通じた対応策がとられている。

添付資料には、アーツカウンシル・ウェールズ、および民間財団等による助成情報も加えている。

【助成関連概況（アーツカウンシル・イングランド）】

COVID-19により危機にあるアーティストや団体に対して、総額1億6,000万ポンド（約240億円）の緊急の助成方針が発表された。

詳細は、添付資料を参照。

【助成関連概況（クリエイティブ・スコットランド）】

The Bridging Bursary (Arts and Creative) Fund :

COVID-19により文化芸術の職や活動の機会を失ったことで収入を断たれたアーティストやフリーランサー個人を支援する制度。

当初、準備200万ポンド（約3億円）の予算に対し、公募開始から3日間で800件超、150万ポンド（約2億2,500万円）に及ぶ応募が寄せられたため、スコットランド政府とFreelands Foundationにより、それぞれ100万ポンド（約1億5,000万円）を追加で調達、総額400万ポンド（約6億円）の予算を確保。※5/15確認時点で募集は締め切り

- ・必要に応じて500～2,500ポンド（約7万5,000～約37万5,000円）が受給可能
- ・簡易かつ迅速な審査手続きをとる
- ・申請から4週間以内に審査を終えて入金することを目指す

詳細は、添付資料を参照。

【被助成団体（事例）】

BIG10であるロイヤル・オペラ・ハウス、ナショナル・シアターをはじめとする劇場、コンサートホールなどの閉鎖が3月16日に発表された。同じくBIG10のサウスバンク・センターも6月30日まで閉鎖するなどとしている。

詳細は、添付資料を参照。

【注】

1ポンド＝約150円換算。

BIG10とは、イングランドでACEから最も多額の助成金を受けている上位10位までの芸術文化団体の呼称。

2. オーストラリア

【概況（アート関連）】

オーストラリア統計局（Australian Bureau of Statistics、以下 ABS）発表データによれば、オーストラリアで感染者が 100 人を越えた 3/14 から 3 週間（4/4 まで）の間に、18.7%のアート・娯楽サービス関連の雇用が失われた。また、3/14～4/18 にかけて全産業の雇用は 7.5%、賃金は 8.2%の減少を示した。この現象は全産業一律に及んでいるわけではなく、ABS 労働統計局長のビョーン・ジャービスが「最も顕著に雇用が減少した分野は、宿泊・飲食サービス 33.4%、アート・娯楽サービス 27.0%だ」と述べるように（5 月 5 日時点）、アート分野では雇用への影響が顕著である。

【助成関連概況（豪政府）】

2020 年 3 月 12 日、政府は 176 億豪ドル（約 1 兆 1,792 億円）の最初の経済計画を発表。計画は、事業投資支援、中小企業が雇用を確保するためのキャッシュフロー支援、家計支援、大きな被害を受けたセクターや地域に対する支援の 4 本柱で構成。3 月 30 日、政府は雇用維持のため、1,300 億豪ドル（約 8 兆 7,100 億円）の JobKeeper Payment を発表した。

2020 年 4 月 9 日、副首相と通信・サイバーセキュリティ・芸術担当大臣は、COVID-19 の影響が最大と特定されたアート業界を対象とする 2,700 万豪ドル（約 18 億 900 万円）の支援パッケージを発表。

- ・既存の先住民のビジュアル・アート産業支援プログラムを通じた 700 万豪ドル（約 4 億 6,900 万円）を支援
- ・リージョナル・アーツ基金を通して地域芸術に 1,000 万豪ドル（約 6 億 7,000 万円）を支援
- ・雇用喪失や経済的危機に直面するミュージシャン、アーティスト等を支援する慈善団体「Support Act」に 1,000 万豪ドル（約 6 億 7,000 万円）を支援など。

【助成関連概況（州政府[一部事例]）】

「ニューサウスウェールズ州」

州の芸術文化助成を所管するクリエイティブ・ニューサウスウェールズ（以下、クリエイティブ NSW）は総額 634 万豪ドル（約 4 億 2,478 万円）の新規助成および既存助成の目的変更により独立アーティストおよび中小のアート・映画・文化団体を支援。

（内容）

- ①クリエイティブ NSW が管理するアート関係の建物に入居する 38 団体の家賃等支出の 6 カ月間免除(100 万豪ドル相当（約 6,700 万円）以上)を支援。
- ②45 万豪ドル（約 3,015 万円）の新しい支援プログラム（デジタル化、Creative Koori Digital [Koori は NSW のアボリジニの呼称]、健康福祉、イベント再生の 4 カテゴリー）実施

- ③70万豪ドル（約4,690万円）の映像コンテンツ開発（Screen Slate Development）助成（州内のTVドラマ、ドキュメンタリー等を3作品以上手がけるプロデューサーやプロダクションが応募可能で、最大10万豪ドル（約670万円））
- ④小規模プロジェクト助成総額を35万豪ドル（約2,345万円）に増額（助成金額500～5,000豪ドル（約3万3,500～33万5,000円））
- ⑤18万豪ドル（約1,206万円）のクリエイティブ・リーダーシップ新ラウンド（デジタル・レジデンシー、州内主要文化施設・団体でのリモートワークと能力開発を提供する6つのフェローシップ）
- ⑥200万豪ドル（約1億3,400万円）以上のクリエイティブ NSW 既存助成プログラムの継続支援
- ⑦150万豪ドル（約1億50万円）以上のNSWの映像産業への既存助成プログラムの継続支援

* 上記は、⑥・⑦に「以上」という表記もあり、発表されている総額634万豪ドル（約4億2,478万円）と一致していない。

「ビクトリア州」

州政府は1,680万豪ドル（約11億2,560万円）の芸術文化支援パッケージを発表。

（内訳）

- ・戦略投資助成：1,300万豪ドル（約8億7,100万円）。100の中小の非政府芸術文化団体を支援。その中にはフェスティバル、演劇やパフォーマンス・アーツ団体、ミュージアムが含まれる
- ・The Sustaining Creative Workers initiative：220万豪ドル（約1億4,740万円）。州を拠点とし5年以上のプロ経験を持つ独立クリエイターと極小団体を支援（個人5,000豪ドル（約33万5,000円）、団体1万豪ドル（約67万円）。障害を持つ個人や彼らが主導する団体には2,500豪ドル（約16万7,500円）を追加）
- ・クリエイティブ・ビクトリア：160万豪ドル（約1億720万円）をクリエイティブ・ビクトリアの3つの既存プログラム（VicArts Grants、Music Works、Innovation in Marketing）を通して助成

【助成関連概況（オーストラリア・カウンシル）】

助成決定前の現行の助成プログラムを停止、約500万豪ドル（約3億3,500万円）のコロナ対策に特化した助成プログラム「Resilience Fund」を整備。

①Survive：活動中止による損失を補填

個人とグループは2,000豪ドル（約13万4,000円）まで、団体は5,000豪ドル（約33万5,000円）まで

②Adapt：デジタル化など新しい活動への適応

個人は1万豪ドル（約67万円）まで。団体は2万豪ドル（約134万円）まで

③Create：活動の継続・作品創造

個人は1万豪ドル（約67万円）まで。団体は2万豪ドル（約134万円）まで

・現在助成中の組織と個人に対しては、観客数を求める「オーディエンスKPI」の要件の削除、前払い、レポート要件の延期や簡素化など柔軟に対応。

【被助成団体（事例）】

活動休止に追い込まれている各団体はインターネット配信などに注力しているが、収入減少に伴う雇用調整などを行わざるを得ず、それに伴う労使対立などが起こっている。

メルボルン交響楽団（4月16日から一部メンバーを除いて休業）では、全体（408名）のうち10%のみ稼働しており、その多くはキュレーションや芸術部門で働き、インターネット配信やその企画の中核を担う楽団員である。

シドニー交響楽団は、6月末まで演奏会を中止し、9月末まで会場を閉鎖している。

オペラ・オーストラリアは、最大のイベントである洋上舞台公演（「ハンダ・オペラ」3月27日から予定）を中止、さらに不動産売却などの予定。7,500万豪ドル（約50億2,500万円）の年間収入のうち、既に1,600万豪ドル（約10億7,200万円）の収入減少に陥っている。

オーストラリア・バレエ・カンパニーの多くの観客はチケットの払い戻しは行わず、寄付あるいは将来の公演チケット・バウチャーに交換などの措置をとっている。

シドニー・オペラハウスは3月23日から7月末まで閉鎖（NSW州助成団体）。

詳細は、添付資料参照。

【注】

オーストラリアの雇用には、フルタイム雇用、パートタイム雇用、カジュアル雇用などの形態があり、団体が雇用助成金受給の努力をしても、JobKeeper Paymentの受給資格に該当しない従業員がいる可能性に注意を要する。

1豪ドル=67円換算。

オーストラリアドルは、豪ドルと略記。

3. カナダ

【概況（政府）】

3月25日：カナダ連邦議会上院が1,070億CD（約8兆3,460億円）の新型コロナウイルス対策財政支援措置法案を可決。支援対策は520億CD（約4兆560億円）の直接支援と550億CD（約4兆2,900億円）の税繰延

【助成関連概況（政府）】

カナダ芸術評議会を通じた支援策となっている。

【助成関連概況（州政府[一部事例]）】

4月10日：ケベック州政府は、2020年8月31日までの期間、州内のフェスティバルやイベントの中止を要請。移動や作品流通などですでにかかった費用の返還は必要ないとした。

【助成関連概況（カナダ芸術評議会）】

カナダ芸術評議会による助成対応策は以下のとおり発表されている。

- ・1,100以上あるコア・ファンデッド・オーガニゼーションに対する年間助成金の35%に相当する約6,000万CD（約46億8,000万円）を前倒しで提供
- ・活動の変更、延期、中止に関連する費用を含め、関連費用に充当するための資金留保を認める
- ・実演からオンライン配信（ライブストリーミング、ポッドキャスト、ビデオなど）への移行を奨励。

【被助成団体（事例）】

- ・トロント交響楽団： 2019-20の定期演奏会はすべてキャンセルしている。
8月6日、9日の演奏会は今のところ開催予定となっている。収入減の影響を最小限にするため、スタッフと楽団員の一部について減給や解雇。
- ・ロイヤル・ウィニペグ・バレエ： リモートレッスンなどを実施。購入済みチケットは、寄付、今後の公演に振替、全額返金のいずれかが選べる。
- ・カナディアン・オペラ・カンパニー： シーズンプログラムはすべて中止。会場は閉鎖。チケット購入者に対しては寄付への転換などを依頼している。

【注】

- 1カナダドル=78円換算。
- カナダドルは、CDと略記。

以上